事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	議員広	報事業				事業開	始年度 平原	龙26年度		
担当課	議会事	務局 議会事務	务局		担当者	西海	高末来			
■事業の執行計画	【計画									
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政					
総合計画体系	施策	02	適正な事務執	適正な事務執行とサービス提供						
	基本事	業 02	開かれた議会	運営						
事業の目的	議会だ	よりを通して、	市民へ議会活動情報	報を提供する	ることによって、	議会活動の理	解を深める。			
事業の概要		本会議や各委員 委員会視察研修	会の活動を議会だ。	よりに掲載し	ノ、定期的に発行	すする 。				
■事業実施結果	実施(Do)]								
		年度	2年度		3年	度	4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績			実績		初		
		総事業費	2, 723		2, 2	18	3, 2	14		
■前年度の事業分	<u> </u>	価 (Check) 】								
	指標	指標名称			2年度	<u>3年度</u>	4年度	<u>5年度</u>		
	区分	18,	赤口 ヤヴ	単位	実績		計画	計画		
指標の推移	活動	議会だよりの発行	亍部数	部	48, 800	48, 800	47, 600			
	評価	●達成、棚	既ね達成した 〇多	を 少は達成し	った 〇達成で	<u></u> きず				
達成度の			会だよりを発行す							
評価と説明	説明] り議会活動 も増えた。	情報提供ができた。	。議会活動の	D活性化によりá	発信する情報が	増え、議会だよ	りのページ数		
見直し余地	判定	●数年内(見直し可能 Ost	き地はあるだ	がまだ時間が必	要 〇余地な				
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性		し継続 ●現料	犬どおり継続 O.	発止・完了						
資源方向性	予算		●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	画)					
事務事業名	議員研	修事業				事業開	始年度 平	成26年度
担当課	議会事	務局 議会事務			担当者	齋原	- 藤庄威	
■事業の執行計画	【計画	(Plan)			·			
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政			
総合計画体系	施策	02	適正な事務執	適正な事務執行とサービス提供				
	基本事		開かれた議会					
事業の目的	研修を	通して、議員の により、議員の	自己研鑽に努め、f 資質向上が図られ、	也市町の先達 市政の進展	≝地を視察する 展に寄与する。	ことによって、	各種事例を研	究す
事業の概要			び議員の視察、研 各委員会、全体、記			 施		
■事業実施結果【	実施(Do)]						
		年度	2年度		3 全	F 度	4年度	
事業費の推移	実績/当初予算実績					績		当初
		総事業費	1, 574			0	4,	890
■前年度の事業分		価 (Check) 】						
		指標			2年度	3年度_	4年度	5年度
	区分	, j	N II 11	単位	実績		計画	計画
指標の推移		政策等議員発議作	‡数	件	9	4	1	
		研修参加率		%	97	100	100	
	評価	i ●達成、概	既ね達成した 〇多	多少は達成!	た 〇達成で	きず	,	·
達成度の			孫研修の実施により、	議員の資質	質向上が図られ	た。		
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	坐数年内(こ見直し可能 〇紀	€地はある2	がまだ時間が必	必要 〇余地な	L	
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]						
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	犬どおり継続 Ost	廃止・完了				
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	国際化	推進事業				事業開	始年度	₽成25年度		
担当課	総合政	策部 総合政策	長課		担当者	高	喬 岳陽			
■事業の執行計画	■事業の執行計画【計画(Plan)】									
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政					
総合計画体系	施策	02	適正な事務執	行とサービ	ス提供					
	基本事	業 03	外国人向けサ	ービスの提	供					
事業の目的	外国人	向けのサービス	を充実し、国際感覚	覚豊かな人材	オを増加させる	0				
事業の概要		市国際交流協会 国際交流団体を	を介し、外国語に。 支援する。	よる生活情幸	吸提供や説明	会を実施するほ	か、日本語教	(室の		
■事業実施結果	実施(Do)]								
		年度	2年度		34	丰度	4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		-	当初		
		総事業費	4, 279		3,	952	4	, 409		
■前年度の事業分	析【評	価 (Check)]								
	指標名称			単位	2年度	3年度	4年度	<u>5年度</u>		
	区分	18,	14 保 位 你		実績		計画	計画		
指標の推移	活動	市事業、関係団体 数	マイベントへの参加者	人	267	191	1000	1000		
	評価	〇達成、棚	祝達成した O多	を少は達成し		きず	•			
達成度の			ウィルス感染拡大							
評価と説明	説明	と、また、	主要イベントであ	る国際交流に	フェスティバル	も中止したこと	が大きく影響	<u>\$</u> 0		
見直し余地	判定	●数年内に	-見直し可能 〇ء	戻地はあるが	がまだ時間が必	必要 〇余地な	し			
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性		し継続 ●現料	犬どおり継続 O.F	廃止・完了						
資源方向性	予算		〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 〇	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評値	西)					
事務事業名	情報公	開・個人情報係	呆護事務			事業開	始年度	平成26年度
担当課	総合政	策部 総務課			担当者	寺均	返 厚一	
■事業の執行計画		(Plan)			·			
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政			
総合計画体系	施策	02	適正な事務執行とサービス提供					
	基本事	業 04	適正な個人情	報の管理				
古世の口的	行政'	青報を公開する	ことにより、知る村	権利を保障し	ノ、適正な個人	情報の取扱いと	保護により	<u>個人の</u>
事業の目的	権利利	益を守り市民参	加による公正で民	主的な信頼さ	される市政の推	進を行う。		
± # • 101 =	情報公	開制度及び個人	情報保護制度の受信	寸け及び公員	胃等を行う。審	査請求があった	場合は、情	報公
事業の概要			会で審査を行い答り					
■事業実施結果	実施(Do)]						
		年度	2年度		3全	F度		4年度
事業費の推移	実統	漬/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	0			14		89
■前年度の事業分	析【評	価 (Check) 】						
	指標名称			# / -	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分	1日4	际	単位	実績	実績	計画	計画
七冊の批扱	成果	ウオきナルトリバ	開等に応じた件数件		0	0	0	
指標の推移	八未	番盆請水により2	は開等に応じた件数	1+	0	0	0	İ
	>T.∓L	.t. +11 / 18 / 10 - 11 - 1	11 Mt	111	59	39		
	活動	情報公開等の請求	件剱	件	109	39		İ
	評価	i ●達成、椆	祝な達成した O多	多少は達成し	<u></u>	きず		<u> </u>
達成度の		情報公開請	求に伴う審査請求	が0件である	ことから概ね違	産成していると	思われる。台	う後も行政情報を
評価と説明	説明	公開するこ	とにより、知る権	利を保障し、	適正な個人情	報の取扱いに留	意する。	
見直し余地	判定	○数年内に	-見直し可能 〇分	€地はあるた	がまだ時間が必	必要 ●余地な	し	
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]						
事業の方向性		し継続 ●現場	犬どおり継続 Ost	廃止・完了				
資源方向性	予算		●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮/	<u> \</u>

事務事業調書(通	首評価	事業 事後評価	西)					
事務事業名	議会用	タブレット導力	事業			事業開	始年度 令	和元年度
担当課	議会事	務局 議会事務	务局		担当者	齊	 藤庄威	
■事業の執行計画	【計画							
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政			
総合計画体系	施策	02	適正な事務執行とサービス提供					
	基本事	業 05	ICTによる情報	吸適切な管	管理と利活用			
事業の目的	本会議	活動の円滑かつ	効率化のため、議員	員用タブレッ	ット端末を導入	、する。		
事業の概要			、議会・議員力の「 ける手間と時間を		とともに、ペー	-パレス化による	資料検索や日種	星の
■事業実施結果【	【実施(Do)]						
		年度	2年度		3	年度	4年度	
事業費の推移	実	実績/当初予算 実績			5	実績	놸	首初
		総事業費	1, 528		1,	528	1, !	530
■前年度の事業分	析【評	価 (Check)]						
	指標	坛	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分	18,	示句 你	丰位	実績		計画	計画
指標の推移	成果	資料及び通知等の る削減額)ペーパーレス化によ	円	△440	△300	△400	
	評価	●達成、棚	祝ね達成した O多	を少は達成し	った 〇達成	できず	,	•
達成度の			シットの導入によ				向上につながっ	った。
評価と説明	説明							
	.11 =4					N		
見直し余地	判定		_見直し可能 ●弁	15地はあるか	いまた時間が必	必要 〇余地な	し	
■将来方向性【改		tion)]	h la La La La La La La La La La La La La La					
事業の方向性			1 - 0 - 1 - 10 - 0 - 10	<u>廃止・完了</u>	, u. =t- [
<u> 資源方向性</u>	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	■ ○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	面)						
事務事業名	総合文	書管理事業				事業開	始年度		
担当課	総合政	策部 総務課			担当者	寺均	返 厚一		
■事業の執行計画	【計画	(Plan)			·				
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政				
総合計画体系	施策	02	適正な事務執行とサービス提供						
	基本事	業 05	ICTによる情報	6の適切な管	管理と利活用				
事業の目的	文書の	管理を電子化す	ることで、DX化を)			
事業の概要	定期的	にマニュアルの	周知を行う。						
■事業実施結果【	実施(Do)]							
		年度	2年度		3年	度	4年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初		
		総事業費	0			0		0	
■前年度の事業分	析【評	価 (Check) 】							
	指標	tb	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
	区分	18:	宗石 你	右が 単位			計画	計画	
指標の推移	成果	電子決裁率		%		0	70		
						0			
	評価	●達成、棚	既ね達成した 〇多	多少は達成し		きず		,	
達成度の			隻においては、シス				家働することが	できた。次年	
評価と説明	説明	度以降、シ	ステムの利用率向.	上に向けた原	周知等を実施し	、電子化を推進	する。		
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
■将来方向性【改		tion)]	- July -	11.010.07		<u> </u>		_	
事業の方向性		, _	犬どおり継続 O.	・完了					
資源方向性			●現状 〇縮小	<u> </u>	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通	常評価	i事業 事後評	面)							
事務事業名	コンビ	二交付事業				事業開	開始年度 平	" 成28年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当者		谷 尚枝			
■事業の執行計画	【計画	(Plan)								
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政					
総合計画体系	施策	02	適正な事務執	行とサービ	テとサービス提供					
	基本事		ICTによる情幸							
事業の目的			を利用して、場所			〕鑑登録証明書を	取得すること	がで		
サネックロリ			上及びマイナンバ-							
事業の概要			を利用して、全国の	のコンビニに	こおいて、午前	∫6時30分から	ケーチャック ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	での		
サネの似女	時間帯	に各種証明書が	取得できる。							
■事業実施結果【	実施(
		年度	2年度		3年度		4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算						当初		
		総事業費	2, 219		2,	220	2,	, 279		
■前年度の事業分		価 (Check) 】								
	指標	指	標名称	単位	2年度_	3年度	4年度	5年度		
	区分	14	13K 14 117	+12	実績		計画	計画		
指標の推移	成果		^ト る証明書交付枚数	枚			4000			
מושו ליאון נונ	////	(年間)		1/2	1789	3636	1000			
	成果									
			m \+ -\-	<u> </u>	/ 0 >+ -1	- + 13				
\+ -\	評価		<u> 既ね達成した 〇多</u>		た 〇達成	<u>できず</u>				
達成度の	= 24 00		00部に対し3,600部	達成						
評価と説明	説明	1								
	Jul C	0 * 左 九 /	- D = 1 - T-44 - O /	ヘルユナフ	!	N =	. 1			
見直し余地	判定		こ見直し可能 〇名	天地 はあるた	がまだ時間が』	必要 ●余地な	L			
■将来方向性【改		tion)	上 15 よ 、 11 4 11 4 11 4 11 4 11 4 11 4 11 4	ᅕᄔᅟᅟᅟᅼᄀ						
事業の方向性			· · - · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>廃止・完了</u>	ᄽ					
<u> </u>	予算	算額 〇拡大	: ●現状 ○縮小		業務量	■ ○拡大	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評値	西)					
事務事業名	選挙啓	発事務				事業開	始年度	平成26年度
担当課	総合政	策部 選挙管理	里委員会事務局		担当者	吉	睪一貴	
■事業の執行計画	【計画	(Plan)						
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政			
総合計画体系	施策	02	適正な事務執行とサービス提供					
	基本事	業 99	総合事業					
事業の目的	選挙制度	度が正しく理解	され、政治や選挙	への関心が高	高まり、進んで	投票がなされる	0	
事業の概要		関する啓発、周 の重要性を理解	知をあらゆる機会? してもらう。	を通じて行い	ヽ、選挙が公明	かつ適正に行わ	れ、政治の	仕組み
■事業実施結果	【実施(I	Oo)]						
		年度	2年度		34	年度	4年度	
事業費の推移	実統	責/当初予算						当初
		総事業費	88		133			276
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】						
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分	10.	ייין ביי וויי	+12	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	投票率		%	42. 22	54. 49	55	
	評価	〇達成、根	祝達成した ●彡	を少は達成!	った 〇達成で	: : きず	•	•
達成度の) 値は投票率55%。					
評価と説明	説明		衆議院小選挙区選					
		投票率が伸	び悩んだ理由とし	ては、コロラ	ト禍の影響や、	若年層の政治へ	の関心の低	さ等、さまざまな
見直し余地	判定	●数年内に	-見直し可能 〇分	食地はあるが	がまだ時間が必	必要 〇余地な	し	
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]						
事業の方向性	●見直	し継続 〇現物	犬どおり継続 ○原	廃止・完了				
資源方向性	予算	額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	O拡大 ●	現状 〇縮/	<u>'</u>

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	出納事	務				事業開	始年度平	成26年度		
担当課	会計課	会計課			担当者	長	鳥 かお里			
■事業の執行計画		(Plan)			·					
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政					
総合計画体系	施策	02		行とサービ	テとサービス提供					
	基本事		総合事業							
事業の目的	職員が	正確かつ迅速で	効率的な出納事務を	を行っており	り、公金が適切	に取扱われてい	る。			
事業の概要	公金の	出納及び保管を	行う。							
■事業実施結果	実施(Do)]								
		年度	2年度		3年	F度	4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績				1	当初		
		総事業費	2, 431		2, 7	708	2,	467		
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】								
	指標				2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	10.	ימין בוי או	単位	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	支出伝票における	錯誤指摘件数(%)	%	0. 58	0. 32	0. 2	0. 2		
	評価	〇達成、概	祝さ成した ●3	多少は達成し	た 〇達成で	きず	•	•		
達成度の		毎月の例	月現金出納検査で	監査委員事和	8局より錯誤指	摘が数件指摘さ	れ、昨年は年	間をとおして処		
評価と説明	説明		しての錯誤指摘件	数の割合は0	. 32%であった	。目標は0%で	あり、今後も	よりいっそうの		
		努力をして	いきたい。							
見直し余地	判定	〇数年内に	三見直し可能 〇分	食地はあるだ	がまだ時間が必	要 ●余地な	l			
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]								
事業の方向性			犬どおり継続 O.	<u>廃止・完了</u>			·	·		
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価		西)					
事務事業名	学校教	育課庶務事務				事業開	始年度	" 成26年度
担当課	教育委	員会 学校教育	う課		担当者	古	睪焦	
■事業の執行計画	【計画	(Plan)			·			
	政策	01	市民とともに	築く自立し	た行財政			
総合計画体系			2 適正な事務執行とサービス提供					
	基本事	業 99	総合事業					
事業の目的	学校教	育課の庶務事務	を実施する					
事業の概要	教育委	員会事務局事務	費					
■事業実施結果【	【実施(Do)]						
		年度	2年度		3年	F度	4年度	
事業費の推移	実	績/当初予算						当初
		総事業費	29, 484		17,	037	21	, 476
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】						
	指標	指標名称		単位	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分	10,	ימין בוי או	+12	実績		計画	計画
指標の推移	活動	バス借り上げ実施	Ē学校数	回	7	8	7	7
	評価	●達成、棚	既ね達成した O多	る少は達成し	た 〇達成で	きず	•	•
達成度の			で校外学習の為の					
評価と説明	説明	※氏家中学	校は当面間の利用	は無いとのこ	ے _			
		福祉施設	(の慰問を行ってい)	たが、コロフ	ト禍のため2年	間実施無し		
見直し余地	判定	〇数年内に	-見直し可能 ●糸	<u>戻地はある</u> た	がまだ時間が必	要 〇余地な	L	
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]						
事業の方向性	●見直	し継続 〇現料	犬どおり継続 O.F	廃止・完了	_	_		
資源方向性	予算	算額 〇拡大	○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	